

## 人生の運・不運

人には運、不運が有ることは否めません。本人の実力や努力に関わらず運がよい人、悪い人それぞれがいることは確かです。しかしだからといって全てを運のせいにしてしまうことも出来ません。確かに宝くじに当たるか否かのように確率の問題 = 運もありますが、端から見ると単なる運と思われていることも、その人の日頃の生き方、心がけ、人柄（生き様）、見えない努力等に左右されている面が少なくないと思われる。また人生において出会う幾つかの岐路において、その時どう判断しどちらの道を選択するか、その時々本人の判断の積み重ねにより人生が左右されていることも確かです。それは決して運の問題ではありません。まして就職試験等に受かるか否かはこれは運の問題と言うより、本人の日頃の心がけに大きく関わっている問題です。

皆さんにとって、人生の一つの岐路としての就職・進学のための試験が目の前に迫っていますが、そこでの合否の結果は、決して運の問題ではありません。事前にどれだけ準備をし備えたか否かに大きく関わっているはず。運は一面では自ら開くものです。新しい扉を喜びと祝福で開くためにも、最後の準備を怠りなくしましょう。



## 進路応募書類届ける

就職希望者の応募書類を7, 8日の両日に3年生の担任と進路係で分担して各企業に届けてきました。今週末頃から来週頭にかけて各企業から、試験日等の連絡が皆さんの手元にも届くと思います。

ただし、各企業に職員が書類を届けに行った際、すでに大変厳しそうな話を伺っている企業も何社もありました。ある企業は職員が書類を届けた直後に、学校に電話をかけてきて、採用できる見込みが極めて低いとすでにお断りいただいたところもあります(2社)。皆さんの中には書類を出せば受かったような思いでいる人も何人かいるかもしれませんが、現実の厳しさを思い知るのはこれからです。

これまでも何度も今年の厳しさを伝えているつもりですが、今年は一筋縄ではいかないことがまもなく分かります。結果を見てその現実の厳しさと惨めさを、自分のこととして感じたときはすでに遅いのです。もっとも今年是不合格もやむを得ないでしょう。しかし次がなかなか見出せず、辛い思いを長く味わう可能性が高いことを覚悟してください。

進路係としても何とか次の道を切り開くように努力をしますが、先のことを今から心配してもしかたがありません。今は何とかそうならないように努力有るのみです。

### 働くってどんなこと

今皆さんの多くは、就職を考えています。そもそも皆さんが就職をして働くとはどういうことなのでしょう。

皆さんはこれからの人生の長い期間「職業」に付くこととなります。職業は毎日の生活を支える経済的糧を得る手段と同時に、それを通して自分自身が成長し、また社会を維持・発展させる力ともなります。それがまた個人の生き甲斐にも繋がっていくことでしょう。仕事を通して生き甲斐ややりがいを得られれば何よりです。